

Vo1. 163



H30.10.1
なかよし保育園
子育て支援センター
事業推進委員会
Tel 086-253-0249
ホームページ
http://www.kids-nakayoshi.jp/nakayoshi/

赤ちゃんクラブをしました

保健師さんと愛育委員さんを招いて今回はがん検診の大切さについて、話を聞きました。その後は育児の悩みを話し合い情報交換やアドバイスをもらい、お互い共有しました。



ミニ運動会をしました

お面取りゲームや、ふれあい遊びなどを親子で楽しみました。保育園児のする体操と一緒にしたり、年長児のバルーンを見たりして、交流もできました。



ふれあい遊び講座をしました

講師に西崎先生を招いて、わらべ歌を中心に親子で触れ合い遊びを楽しみました。今の季節に合った歌や、遊びを沢山紹介してもらいました。



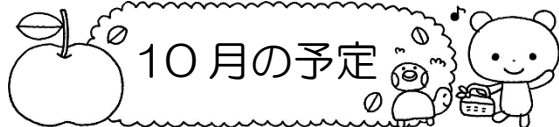
お月見会をしました

折り紙で箱を作り、米粉を丸めて、お月見団子を載せました。秋の七草を見たり、お月さまの歌を歌ったり、紙芝居を見たりして楽しみました。



リトミック講座をしました

講師に赤岩先生を招いて、秋にちなんだ歌やリズム遊びを親子で楽しみました。



Calendar table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金) and rows for dates (1-31). Activities include 'サロン', 'オープンスペース', '交通安全教室', '体育の日 お休み', '公園であそぼう', '交通安全指導', 'ふれあいデー', '公園で遊ぼう'.

予定の詳細について

交通安全指導

日時：10月5日(金)
10時00分～11時00分
(時間厳守でお越し下さい)

場所：なかよし保育園 園庭

定員：20名(要予約)

※生活安全課の方から話があります。

保育園の友だちと一緒に交通ルールについて学びましょう。

ふれあいデー

日時：10月13日(土)
9時00分～12時00分

場所：なかよし保育園 室内・園庭

※駐車場は利用できません。自転車及び公共交通機関をご利用下さい。

公園で遊ぼう

日時：10月23日(火)
10時00分～11時30分
(時間厳守でお越し下さい)

場所：県総合グラウンド

定員：15名(要予約)

※野球場側(第1駐車場)に現地集合、現地解散となります。(詳しくは県営グラウンドのホームページでご確認をお願いします)

※自然の中で体を動かして遊ぼう!

※雨天場合は中止です。当日の朝に電話連絡をします。

♪11月の予定♪

◎11月14日(水) 離乳食講座 10時～11時30分

◎11月15日(木) エアロビクス 10時～11時30分

◎11月21日(水) 赤ちゃんクラブ 10時～11時30分

※変更のある場合はホームページで確認をお願いします。

※全て1ヶ月前より予約が可能です。支援センターの来園時や、センターの開園時間内に予約をして下さい。

また、定員になり次第締め切りの講座もありますので、ご了承ください。

自分への気づき

1歳半頃になると、自分の名前を呼ばれたときに「はい」と返事をしたり、「〇〇ちゃんアンパンマン持って来て」というと応じてくれるようになっていたりします。自分の物や名前にも気付くようになります。それまでは、自分が遊んでいたおもちゃを取られても、平気で遊んでいたのが、取られると泣き叫んだり、取り返そうとむきになったりしてしまいますね、自分のおもちゃでなくても、自分が先にあそんで持っていたおもちゃを抱え込んでしまい他の子どもたちに貸そうとしません。この頃になると、表現能力（目前にない物事を頭のなかにイメージする能力）「照れ」「得意」「共感」「嫉妬」が発達してくるそうです。

また2歳児頃には「よいこと」「わるいこと」は経験を繰り返しながら区別を理解し、自分のなかに取り入れていく。それとともに失敗したり、悪いことをしたりしたら「恥」「罪悪感」又よいことをしたら「誇り」の情緒も生じてくるようになるそうです。

そして、2～3歳児頃には、子どもたちは、自分の行動に自信がついてきて、自分の意志で行動しようとしてします。でもお母さんや保育者は子ども行動が危険であったり、感情表現などがあった場合、禁止や抑止、手助けをしようとするので、子どもは激しく抵抗するようになります。反抗に対して、要求を何でも聞き入れるのではなく、押さえつけるのではなく、その行動は認められないことを子どもに繰り返し伝えていきましょう。

「自分でしたい」「自分にはできるはずだ」という意欲をもっていろいろなことに挑戦しようとしてします。自分でやり遂げることができると、周りの人から認められる、そして認めら褒められる経験をすると、自分は価値のある存在だととらえ、「自尊心」が高まるそうです。おうちの方の子どもさんの捉え方により子どもさんが自己をどのように捉え物事にどのように取り組んでいくかという態度に影響を及ぼすようです。

この反抗は子どもの発達においては重要な意味があります。自分ということに気づき始めたのです。どうか叱らないで、子どもさんの気づきを受け入れてあげませんか。



せきやのどの症状が特徴的な病気

季節の変わり目は体調を崩したり、咳などの症状を訴えるこどもが増えます。基本的なケアと、知っておきたい病気を紹介します。

RSウイルス感染症

<症状>
咳と鼻水、ゼイゼイという呼吸（ぜい鳴）発熱など。0～1歳児は重症化しやすい。

クループ症候群

<症状>
呼吸が荒くなり声がかれる、ケンケンという犬の遠吠えのような咳が出るのが特徴。夜間に症状が悪化しやすい。

扁桃炎

<症状>
急に40度近い高熱出て、返答が真っ赤に腫れ、のどの痛みのため食事もとりにくくなります。受診して薬を処方してもらって症状が楽になります。

肺炎

<症状>
原因のウイルスによって症状は異なりますが、高熱と激しい咳、鼻水が特徴で下痢や嘔吐を伴う場合も、重症化すると命に関わることもあります。

気管支ぜんそく

<症状>
発作が起こると激しく咳き込み、ゼイゼイというぜん鳴が出ます。発作中は楽な姿勢をとらせ、背中をさすったり腹式呼吸を促したりします。

百日咳

<症状>
乾いた連続的な咳の後、ヒューヒューと笛のような音を立てて息を吸うのが特徴。咳の発作は長く続き、完治まで3ヶ月近くかかることも。

こんなケアを



こんな時は病院へ

- ・室内を加湿する（加湿器を使う、濡らしたタオルを室内に干すなど）
- ・水分を少しずつ、こまめにとらせる。
- ・寝る時はクッションなどを背中に敷いて上半身を高くしたり、座る姿勢にしたりする。

- ・熱や発疹などの症状がある。
- ・咳やタンの症状が長く続く。
- ・ヒューヒュー、ゼイゼイというぜん鳴があり、呼吸が早い。
- ・呼吸困難を起こしている。